

長崎県軟式野球選手権大会

SINCE 1951

60年の熱戦譜

- 第1章 長崎県軟式野球界の勢力分布は“北高南低型”
第1回(S.26年)～第5回(S.30年)
- 第2章 佐世保勢3連覇の後に、大会10回目にして長崎勢が初V
第6回(S.31年)～第10回(S.35年)
- 第3章 “強し！！”日本冷熱工業が準硬式大会で5連覇達成
第11回(S.36年)～第15回(S.40年)
- 第4章 軟式球使用の大会が復活し、三菱重工長崎が6連覇
第16回(S.41年)～第22回(S.47年)
- 第5章 優勝チームが毎年変わる“乱世の時代”
第23回(S.48年)～第28回(S.53年)
- 第6章 長崎日野の3連覇に続いて、親和銀行が6年間でV5
第29回(S.54年)～第38回(S.63年)
- 第7章 親和銀行の6連覇達成は22年前の三菱重工の記録に並ぶ
第39回(H.元年)～第44回(H.6年)
- 第8章 親和銀行と三菱重工の2強にソニー長崎が絡んだ優勝争い
第45回(H.7年)～第54回(H.16年)
- 第9章 県連支部が一つ消滅し15支部+推薦の16チーム参加となる
第55回(H.17年)～第60回(H.22年)